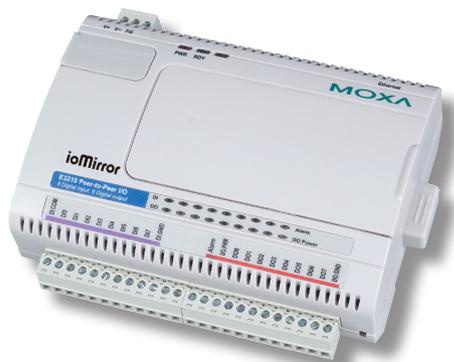


ioMirror E3210

8点デジタル入力および8点デジタル出力搭載イーサネット・ピア・ツー・ピアI/O



ここに表示されている認証ロゴはこのセクションの製品の一部分またはすべてに適用されます。詳しくは仕様のセクションまたはMoxaのウェブサイトを参照してください。

- ▶ IPによるダイレクトな入力-to-出力信号通信
- ▶ 高速ピア・ツー・ピアI/O (20 ms以内)
- ▶ 接続状態を監視する1物理アラーム・ポートをサポート
- ▶ 迅速で便利なユーティリティとWebベースの設定をサポート
- ▶ ローカル警告およびリモート警告メッセージをサポート
- ▶ 遠隔監視用Modbus/TCPをサポート
- ▶ 設定に便利なLCDモジュールをオプションで用意



5

リモートI/O > ioMirror E3210

製品紹介

IPによるダイレクトな入力-to-出力通信

ioMirror E3000イーサネットI/OサーバはIPネットワーク上でリモート・デジタル入力信号を出力信号に変換するケーブル交換ソリューションとして設計されています。ioMirror E3210は8点デジタル入力、8点デジタル出力、1 x 10/100Mイーサネット・インタフェースを備えています。イーサネットを使って、最大8ペアのデジタル入力および出力信号を他のioMirror E3210だけでなく、ローカルのPCLやDCSコントローラと交換できます。ローカル・エリア・ネットワークでは、ioMirrorの信号待ち時間は通常20 msです。ioMirrorは導線、光ファイバ、無線イーサネットなどのインフラを使って、リモートのセンサーをローカルのコントローラや表示パネルに接続できます。信号の送信距離は事実上無制限で、ノイズの問題もありません。

センサー信号を16箇所同時に送信

ioMirror E3000は1つの入力信号をIPアドレスの異なる2つの出力チャンネルに同時送信可能です。8つのタンク・レベル信号は16台の表示パネルで同時に監視できます。

リモート・アラーム・メッセージによるローカル・アラームで接続を監視

ioMirror E3210は接続切断時に付属ブザーやディスプレイLEDを起動する24 VDCのアラーム出力チャンネルを備えています。また、イベント・ログ・ソフトウェアにメッセージを送信可能なモジュールが2つ用意されています。したがって、警告メッセージのうち少なくとも1つはイベント・ログ・ソフトウェアに確実に送信されます。

仕様

デジタル入力

入力: 8、ソース・タイプ

I/Oモード: デジタル入力

ドライ・コンタクト:
論理0: GNDにクローズ
論理1: オープン

ウェット・コンタクト:
論理0: 0~3 VDC
論理1: 10~30 VDC

絶縁: 2K Vrms

共通タイプ: 8点/COM

デジタル出力

出力: 8、シンク・タイプ

I/Oモード: デジタル出力

オン・ステータス電圧: 24 VDC (通常)

出力電流定格: 最大200 mA/チャンネル

光絶縁: 2K Vrms/3K VDC

保護:

過電圧保護: +50 VDC

過電流制限: 600 mA (通常)

過熱シャットダウン: 160°C (最小)

アラーム・ポート出力

出力: 1、シンク・タイプ

オン・ステータス電圧: 24 VDC (通常)

出力電流定格: 最大200 mA/チャンネル

光絶縁: 2K Vrms/3K VDC

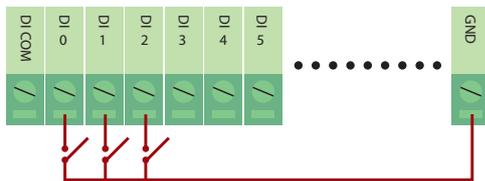
: I/Oピン・アサイン

I/O (左から右)

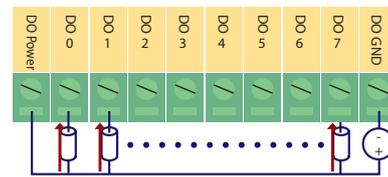
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
DI COM1	DI 0	DI 1	DI 2	DI 3	DI 4	DI 5	DI 6	DI 7	DI GND				Alarm	DO Power	DO 0	DO 1	DO 2	DO 3	DO 4	DO 5	DO 6	DO 7	DO GND

: 配線例

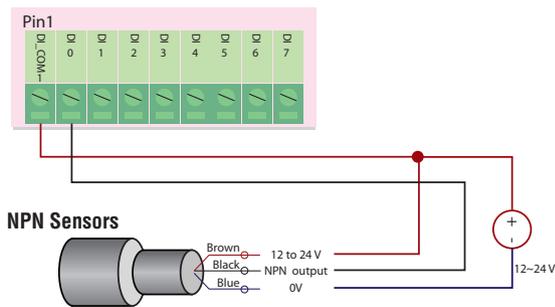
デジタル入力 (ドライ・コンタクト)



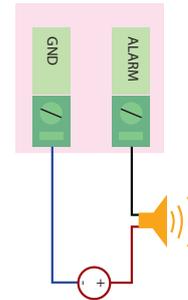
デジタル出力



デジタル入力 (NPNセンサー付きウェット・コンタクト)



アラーム・ポート



: 注文情報

ioMirror E3210: 8点デジタル入力および8点デジタル出力搭載イーサネット・ピア・ツー・ピアI/O

LDP1602: LCDモジュール、16 x 2文字ディスプレイ、5ボタン